

組込みソフトウェア 設計図フォーラム（第三回）

概要	<p>設計図フォーラムは、設計図を活用することで商品開発の成功と人材の育成の両立を実現するための情報交換の場です。</p> <p>今回は、設計の基本としてのデータ構造に着目。変数を中心にリファクタリングすることで凝集度を高めるリバース&リファクタリングの実際を紹介します。また、話題のキーワードである IoT をアーキテクトがどのように見ているのか、を発表していただきます。</p> <p>後半は、クラス単位の設計、関数単位の単体テスト、コンポーネント単位のアーキテクチャ設計でそれぞれ使えるツールを、実践者から具体的に紹介します。</p>
日時	<p>2017年7月6日（木）14時～17時15分（13時30分開場）</p> <p style="text-align: center;">懇親会：17時30分～19時30分（いずれも無料）</p>
場所	新横浜国際ホテル マナーハウス4階 ブループラム

■スケジュール

14:00～14:05	開会のあいさつ ビースラッシュ 菅井 ひとみ
14:05～14:25 (20分)	設計力を鍛える ～データ構造を設計していますか？～
	<p>ビースラッシュ株式会社 山田 大介</p> <p>データ構造の設計として、構造体や状態変数の設計方法を紹介しします。脱フラグ中心設計。</p>
14:25～14:50 (25分)	既存ソースコードを資産化する ～リバース&リファクタリング～
	<p>富士通エレクトロニクス株式会社 三宅 貴章 様</p> <p>既存ソースコードを改善して、図面を作る方法を紹介しします。プロジェクト開始前に実施することで、プロジェクトのQCDとエンジニアのモチベーションが向上するはずでず。</p>
14:50～15:20 (30分)	IoT時代のアーキテクチャは如何にあるべきか ～アーキテクトが見るIoT～
	<p>パナソニック株式会社 四反田 秀樹 様</p> <p>IoTというキーワードを様々な場面で見かけるようになりました。アーキテクトから見えるIoTアーキテクチャの姿とアーキテクトになるための秘訣を紹介しします。</p>
15:20～15:30	休憩
15:30～16:10 (40分)	モデル駆動開発を実践する ～BridgePointは再び脚光を浴びるのか？～
	<p>日本xtUMLユーザ会 xtUML.jp 土樋 祐希 様</p> <p>実行可能UMLツールのBridgePointがフリーで使えるようになり、日本でもユーザ会が発足されました。MDDモデリングの有効性と勘所を紹介しします。</p>
16:10～16:40 (30分)	単体テストを自動化する ～VectorCASTを使ってみよう～
	<p>ベクター・ソフトウェア・ジャパン 高橋 高弘 様</p> <p>関数単位の単体テストで品質を作り込むことは、開発者にとってのマナーですが、なかなか工数が取れない実情もあります。ツールを使っての大幅な効率化の方法を紹介しします。</p>
16:40～17:10 (30分)	アーキテクチャ設計でアジャイルする ～AtScopeの上手な活用方法～
	<p>ビースラッシュ株式会社 山田 大介</p> <p>コンポーネント単位のアーキテクチャを描き、そのフォルダ構成にソースコードを徐々に追加していくアジャイルな開発方法を紹介しします。AtScopeで構造の劣化を検知しします。</p>
17:10～17:15	閉会のあいさつ ビースラッシュ 山田 大介

※講演内容と講演者は予告なく変更となる場合がございます